

2018年3月16日

株式会社 F.TRON の株式譲渡について

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有する株式会社 F.TRON（本社：東京都千代田区、代表取締役会長：杉中順子、以下「F.TRON」）の全株式について、F.TRON の代表取締役会長である杉中順子氏に譲渡しましたのでお知らせいたします。

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階
電話：03-5218-7202 URL：<http://www.incj.co.jp/>

【別紙】

1. 対象事業会社

株式会社 F.TRON

- ・ 設立 : 2008 年 7 月
- ・ 代表者 : 杉中 順子
- ・ 所在地 : 東京都千代田区
- ・ 事業内容 : サイバーセキュリティ対策ソフトウェアの開発・販売

2. 支援決定概要

- ・ 支援決定公表日 : 2016 年 1 月 19 日
- ・ 支援決定金額 : 9 億円 (上限)
- ・ 実投資額 : 2 億円
- ・ 共同投資家 : 日本 ATM
- ・ 株式保有割合 : 非公表
- ・ 支援決定時プレスリリース : <https://www.incj.co.jp/news/assets/1453177166.01.pdf>
- ・ 投資ストラクチャー図 :
<https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1453177225.02.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の背景

2008 年 7 月、F.TRON は、独自技術によりサイバーセキュリティ対策ソフトウェアの開発・販売を行うベンチャー企業として設立されました。同社は、世界初の CPU 管理技術により、コンピュータの全機能を掌握し、第三者による処理の実行を許さないサイバーセキュリティ対策製品「INTΦ (イントゼロ)」を開発。この製品によって、CPU、OS、アプリケーションの全ての動きを監視し、第三者による不正な処理を検知して、安全に停止させることができます。

IoT、ビッグデータ、人工知能等をはじめとする産業のデジタル化により、サイバーセキュリティ対策の重要性がより一層高まることを背景に、INCJ は、2016 年 1 月、F.TRON の日本発、世界唯一の技術の普及を支援するため、事業展開の加速に必要な成長資金として、9 億円を上限とする支援を決定し、2 億円を投資実行しました。

(2) 事業の進捗

当初は、産業のデジタル化の発展における新事業としての貢献、さらに従来のサイバーセキュリティ対策にパラダイムシフトを起こす日本発の技術として、同社の製品が展開されることを想定していました。現在、当初の事業計画から乖離があるものの、製品開発は一定の進展があり、同社は今後も日本発の独自技術により事業を継続していきます。

(3) Exit の経緯・内容

今回、F.TRON の事業継続について、慎重に議論を重ねる中で、会長の杉中順子氏が INCJ が保有する同社の株式全部を買い取ることに合意しました。INCJ としても、同氏が代表取締役会長かつ筆頭株主として経営イニシアチブをとっていくことが事業継続にとって最も適切と判断し、INCJ が保有する全株式を同氏に譲渡することにしました。

4. 主務大臣（経済産業大臣）の意見

ベンチャー企業等への積極的な支援は、今後も我が国の産業競争力の強化において重要である。本案件の課題を分析し、その反省に立って引き続きベンチャー企業等の支援を行うとともに、支援案件全体としての収益性の確保に努められたい。